

エコレター

4月号

皆さんこんにちは、エコレター編集部です。
春の季節がやってきました。春といえば桜ですね。
春といえば新しい学期の初めでもあります。
そこで、エコレターも昨年からの担当者が引き継がれ4月号が新たなスタートとなっております。
これからもよろしくお願いいたします。

もくじ

■表紙	…1
■すいた環境教育フェスタ 2020	…2~4
■くるくるアースフェスタ じぶん発電所づくり入門講座 関西大学総合図書館の取組	…5
■関西大学 経済学部 良永ゼミ 班紹介	…6
■良永ゼミから本紹介	…7
■各種募集・イベント紹介	…8

すいた環境教育フェスタ 2020

～給茶コーナー～

マイカップ・マイボトルを持参された方に、温かいほうじ茶を提供しました。イベントのチラシに「マイカップ・マイボトルを持参してね」と記入し、持参を呼びかけました。このコーナーを訪れた人は、マイカップ持参（12人）、マイボトル持参（37人）、リユースカップ利用（20人）、ペットボトル再利用（1人）の合計70人でした。

「温かいお茶をどうぞ。」と声をかけると、「私、マイボトルでお茶をもってきています。」と答える人が増え、マイカップ・マイボトル持参者が増えているのを実感しました。

アンケートには、「ペットボトル飲料をなるべく買わない」「エコバッグを常に持っておく」のほかに、「マイカップに挑戦します」という強い意志表明もありました。

【資源部会 水川晶子】



～食品ロス削減プロジェクトチーム～

世界全体での年間食料援助量が約320万トン、日本での食品ロスの量は約632万トンとの深刻な内容のパネルを見て、80人にクイズに答えていただきました。

今日から始められることとして「食べきれぬ量しか注文しない」「食べ残しをしない」「買い物をする量を決めて無駄に買わない」「食べられる量を調理する」などのすぐにでもできる行動プランを74人が記入してくれました。「話せばわかる」と手ごたえを感じました。

【食ロス削減 FSP 水川晶子】

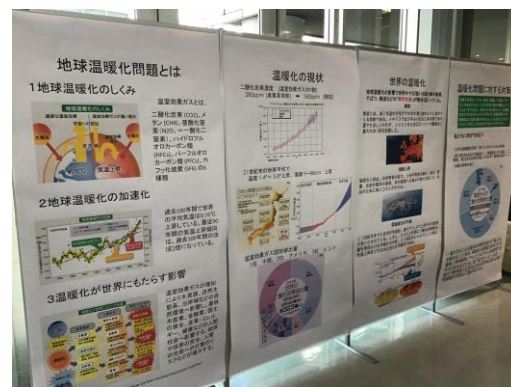


～大阪学院大学 展示～

吹田市資源リサイクルセンター「くるくるプラザ」にて開催された「すいた環境教育フェスタ 2020」に参加しました。（2020年2月1日(土)）

国際学部三輪信哉教授のゼミナール生が、地球温暖化及び食品ロスに関するポスターの展示をしたほか、本学の近隣企業であるオッペン化粧品株式会社のばら園一般公開時に共催した「OPPEN×OGU フォトコンテスト 2019」の写真を展示し、環境問題への対策や自然環境の保護を呼びかけました。

【大阪学院大学 三輪信哉】



～エコすごろく&省エネ相談会～



エネルギー部会では、止まったマス目のクイズに答えながらゴールをめざす「エコすごろく」と家庭でのエコライフをチェックする「省エネ相談会」を実施しました。参加者は前者が子どもを中心に86名、後者が大人9名でした。子どもがエコすごろくに取り組んでいる間に、保護者には省エネ相談を受けてもらおうと考えていましたが、子どもと一緒にクイズに取り組む方が多く、思い通りの集客とはなりませんでした。子どもたちには、楽しみながら環境への意識を高めてもらうことができましたと思います。

【エネルギー部会 馬場慶次郎】

～温暖化防止プロジェクトチーム～

さる2月1日、くるくるプラザにて行われたすいた環境教育フェスタで、地球温暖化防止PTではSDGs関係のポスターを展示し、SDGsの認知度、関心度を調べるアンケートを実施しました。17の目標ごとに作成したシートのうち一番関心のあるところにシールを貼っていただくというもので、10代から70代以上の幅広い年代の方々に参加していただきました。集計結果：1位は14番「海の豊かさを守ろう」、2位は7番の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、3位が同率で2番の「飢餓をゼロに」と11番の「住み続けられるまちづくりを」でした。身近でわかりやすい項目に関心があるようです。

SDGsの認知度は、言葉を初めて聞いたという方が3割、内容まで知っているという方は2割ちょっとという結果に今後の普及・啓発活動の必要性を改めて感じました。

【温暖化防止FSP 馬場 多佳子】



～関西大学 良永ゼミ～

2月1日(土)くるくるプラザにて「すいた環境教育フェスタ」が開催されました。私達、良永ゼミは当日、スタッフとして微力ながらお手伝いさせていただきました。地元の方々、子供たちと触れ合い、改めて環境について考えることができ、新たな学び、触れ合いがあり有意義な一日になりました。

私達はスタッフとして、私生活の中でどれだけエネルギーを消費しているかなど、実際に考えてもらいました。いかにどれだけ環境に負荷を与えているのかなど衝撃を受けている方などもおられました。これをきっかけにして、どのように私生活でエネルギー消費を減らしていくことができるのかを、考えていただければと思います。

また、抽選会のスタッフとしても参加させていただきました。抽選会は、来場された方全員を対象にしております。抽選会で当たった方は、ガンバ大阪の選手の直筆サインが当たります。当たった方はとても喜んでくださり、私達も嬉しかったです。 【関西大学 良永ゼミ 佐藤】



～すいた環境学習発表会&どんぐりネズミ作り～

2月1日(土)【すいた環境教育フェスタ2020】に”すいた環境学習協会”を代表して”みどり組”が参加しました。会場は【くるくるプラザ(吹田市資源リサイクルセンター)】で、C棟では小学生が”環境学習発表会”を行い、くるくるプラザ全体で17もの団体がそれぞれのコーナーで環境に関する催しや展示・説明を行いました。

みどり組はB棟5階で、”タイサンボク”と”どんぐり(マテバシイ)”の木の実を使って今年の干支である【ネズミ】作りを行いました。参加者は、”タイサンボク”が54人・”どんぐり”が61人の合計115人が楽しんでくれました。途中、後藤市長も視察にいられ説明に興味深く耳を傾けておられました。今回の会場は駅から遠く参加者が少ないのではと心配していましたが、予想以上に多く、みどり組の12名も手応えに満足しました。

【すいた環境学習協会 みどり組 鈴鹿 雅信】



～大阪ガス環境教育パネル&クイズ～

大阪ガスとして毎年参加している、「すいた環境教育フェスタ」に今年も出展させていただきました。今回も、昨年に引き続き、環境教育用パネルの展示とその内容を問題にしたクイズを実施しました。このコンテンツは参加賞の食べ物消しゴムが大変好評で、小学生だけでなく、子供や孫にあげたいと大人の方にもご参加いただいています。問題が少し難しかったため、小さいお子様は保護者の方と一緒に参加していただきました。景品は、昨年より多めの100個を用意しましたが、すべて配布することができました。また、本年度も引き続き弊社のカーボンオフセット制度を利用いただき、イベントで排出したCO2を3月末でオフセット処理を行う予定です。

【大阪ガス株式会社 荒堀 尚】



～すいた市民環境会議活動報告&手回し発電で模型電車運転～

環境会議は「大木調査」「温暖化適応塾」「神崎川プラごみゼロアクション」「市民共同発電所」など最近の活動をパネルで紹介しました。また「手回し発電機で模型電車を運転しよう」コーナーを設置して、子どもたちや保護者の皆さんに楽しく発電の仕組みを体験していただきました。ブースが5階の奥なので心配していましたが、161人(うち子ども100人)の来場者があり、多くの方々と語り合うことができました。中には入会したいとおっしゃる方もいてうれしかったです。スタッフも交代で各団体のブースを見学し、市民や行政、企業の新たな活動を学ぶことができました。個人的には、オープニングの阿波踊りに初挑戦したのが楽しかったです。環境課題を楽しく学ぶ場として、フェスタがますます発展することを願っています。

【NPO法人 すいた市民環境会議 喜田久美子】



くるくるアースフェスタ じぶん発電所づくり、関西大学総合図書館

～くるくるアースフェスタ～

第4回目となる「くるくるアースフェスタ」が EXPO CITY 光の広場で開催されました。アジェンダ21すいたは、SDGs や食品ロス、生物多様性などのパネル展示と、SDGs のアンケートを実施しました。アンケートは SDGs の認知度や、17の目標のうち、どれに一番関心を持っておられるか、など回答していただきます。回答者のうち、ガンバ大阪の選手のサイン入りポスターをご希望の方については、後日、抽選にてポスターをプレゼントするという特典があります。

ブースを訪れていただいた方には、地球温暖化防止などのパンフレットや食ロス削減のペロリンコ缶バッジを配布しました。多くの方に環境について関心を持っていただき、日々の行動に活かしていただきたいと思います。【温暖化防止 FSP 池淵 佐知子】



～じぶん発電所づくり入門講座～

豊中市民エネルギーの会の理事である平田賀彦氏を講師として講座を開催したところ、28名の参加者にお集まりいただきました。電気や発電に関する基礎的な知識から始まり、自宅のベランダにも設置可能な大きさの太陽光発電設備のご紹介をしていただきました。平常時の利用はもちろん、災害時にも活用可能です。

終了後、実際に組み立てまで行う応用講座への参加希望を募ったところ12名の希望がありました。部品購入費として2万円ほどかかるとの前提ながら、多くの参加希望があったことは関心の高さを伺うことができます。応用講座は6月頃開催予定です。入門講座を受講されてなくても参加可能ですので、皆様のご参加をお待ちしています。【エネルギー部会 馬場 慶次郎】



～関西大学総合図書館の取組～

関西大学総合図書館において、KANDAI for SDGs 推進プロジェクトによる教員推進図書を中心に、17の目標を達成するためのヒントとなる本を展示しました。

17の目標のうちどの分野に興味があるかのアンケートの結果としては、4番目の目標の「質の高い教育をみんなに」と5番目の目標の「ジェンダー平等を実現しよう」が特に多く選ばれていました。また、教員方の推薦本の貸出回数を昨年度と比較すると7倍近く(32冊→212冊)増加するという結果も得られました。今回の活動でより一層、学生のSDGsへの関心の高さが向上したと思います。(お話を伺った関西大学総合図書館職員の方 北野氏) 【関西大学 良永ゼミ 後藤】

関西大学経済学部 良永ゼミ

班紹介

先日、良永ゼミでは、これからの活動の基盤となる「班決め」を行いました。
話し合いの結果、ひと班4, 5人からなる「エネ班」「水班」「ゴミ(プラ・アパ)」の
4つに分けられました。

3回生になり、本格的なゼミ活動が始まります。
学内・学外でのプレゼンも始まるので、今は、各分野の本を読むことで理解を深めています。

エネ班

エネ班は、再生可能エネルギーに関して理解を深めていく予定です。

日本各地で眠っている自然資源にもう一度着目し、

可能性を感じていただけるきっかけになるように取り組んでいきます。



水班

水班では、仮想水(Virtual Water)に着目し、

日本の抱える水問題について理解を深めていく予定です。

無限であると感じてしまう水について、考えてもらえるように取り組んでいきます。



ゴミ班 (アパレルゴミ&プラスチックゴミ)

ゴミ班は、希望人数が多く2班となりました。「アパレルゴミ班」と「プラスチックゴミ班」です。

アパレル班はアパレル業界で起こる問題について考えていきます。

プラスチックゴミ班は、海にあふれているゴミの深刻な状況について理解を深めていきます。



本紹介



エネ班 『「再エネ大国日本」への挑戦』

著者 山口豊、スーパーJチャンネル土曜取材班

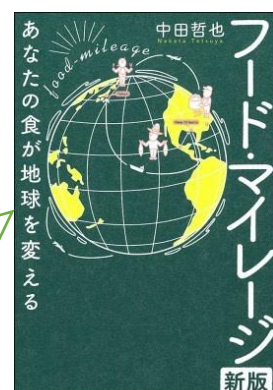
現代の日本における人口減少、温暖化の問題が深刻化する中で、再生可能エネルギーと循環型社会の秘められた力を様々な地域例を通して感じ取れる一冊です。

水班 『フード・マイレージ-あなたの食が地球を変える-』

著者 中田哲也

はじめに、「フード・マイレージ」とは食べ物が運ばれた距離とそれに伴う二酸化炭素の排出量を示しており、食料自給のおおくを海外からの輸入に頼る日本には大きく関わる数値といえます。

本書では日本の食問題をフード・マイレージから考え、地球環境に配慮した望ましい食のライフスタイルを目指すためにどうすればよいのかが書かれています。



プラごみ班 『脱プラスチックへの挑戦 持続可能な地球と世界ビジネスの潮流』

著者 堅達京子

プラごみ班では増加しているプラスチック問題について考えています。2050年には海の中のプラスチックゴミは魚の量を超えと言われて、また空気、水、食べ物にもマイクロプラスチックが含まれ、その脅威は私達の暮らしに迫っています。これらの危機回避について考えています。

アパゴミ班 『大量廃棄社会アパレルとコンビニの不都合な真実』

著者 中村和代、藤田さつき

ゴミ・アパレル班は、ファストファッションのアパレル企業が、環境にどのような影響を与えているのかを、この本を用いて調べ始めています。今日では、安い服を大量に買い、大量に捨てるということが当たり前になりつつあります。大量生産・大量消費社会の裏ではさまざまな問題が起こっていて、その代償について色々な角度から見る、という一冊です。



お知らせ等

令和2年度アジェンダ21すいた定時総会について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度アジェンダ21すいた定時総会は書面開催とさせていただきます。ご了承ください。

エコレター7月号について

次号発行予定でありました、エコレター7月号につきましても新型コロナウイルス感染症の影響により、発行が困難な状況であることから、発行を中止します。ご了承ください。

トピック おおさかプラスチックごみゼロ宣言に参加しました！



おおさかプラスチック
ごみゼロ宣言のHPへ

アジェンダ21すいたプラスチックごみゼロ宣言

吹田の市民、事業者、行政の三者協働組織「アジェンダ21すいた」では、平成18年の創立以来、マイバッグやマイカップ・マイボトル利用普及、大学の学園祭でのリユース食器使用等の取り組みを行ってきました。

その結果、平成30年には北摂7市3町のレジ袋削減協定締結に至りました。これらの実績の上に、さらにプラスチック問題の解決に向け、市民、事業者、学生への啓発に努め、環境にやさしい社会の構築に取り組んで参ります。

アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、

アジェンダ21すいた事務局まで

【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782 FAX 06-6368-9900

エコレター編集担当 関西大学良永ゼミより

●編集後記●

今月号から正式に代替わりしたこともあり、分からないことや不安がある中でエコレターを編集し、大きな達成感を感じると同時に、これから吹田市の方々と関わることがとても楽しみになりました。このエコレターを通じて我々はもちろん、アジェンダ21すいた、吹田市役所の関係者、吹田市の方々と共に環境について考えていきたいと思えます。これから1年間どうぞよろしくお願いいたします。

(良永ゼミ：後藤、小山、佐藤)



愛 I がある SUiTA! 80 吹田!

祝! 吹田市制施行80周年